

神戸セミナー報告

神戸航空機クラスターは、主に神戸を中心とした製造メーカーの集まりです。

航空機産業の川下企業のニーズに、繋がる工場で応えられる一貫生産体制を目指しています。

発表者：山城機工株式会社 新井雅志



KAN
KOBE AERO NETWORK
神戸航空機クラスター

■【日程】2016年9月2日(金)～3日(土)

■【参加企業】(全18社 参加人数:19名 全3班)

ジェイテック、遠藤メソッド、マルイ鍍金工業、オオナガ、佐藤精機、佐野鉄工所、松本工作所、山城機工(株)、上村航機(株)、(株)OKAMURA、(株)山本電機製作所、伊福精密(株)、マルイ鍍金工業(株)、(株)前田精密製作所、下里鋼業(株)、(株)兵庫精密工業所、大東化学(株)、(株)神戸工業試験場

■【インストラクター】

東芝 古賀さん、川崎重工業 中野さん、神戸製鋼所 池田さん

ディスカッションの様子

1班 (困りごとと件数: 9件)

インストラクター: 古賀様



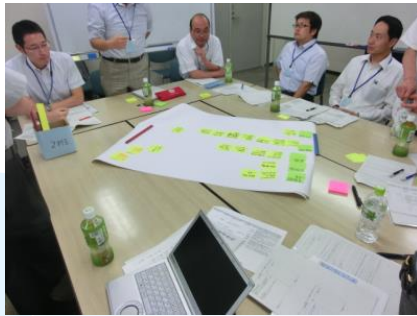
《取りあげたテーマ》
 日々の業務のなかでイレギュラーなケースが発生したときに、処置方法のルールが決まっていない

- ・担当者に伝わらない
- ・確認方法があいまい
- ・処置がなかなか完了しない

ディスカッションの様子

2班 (困りごとと件数: 8件)

インストラクター: 池田様



《取りあげたテーマ》
 部署間(営業と検査部)の情報共有が出来ておらず、直前になる迄内容が分からない。

予定が見えない
 日程が重なる
 作業量が分からない

3班 (困りごとと件数: 14件)

インストラクター: 中野様



《取りあげたテーマ》
各工程担当者がそれぞれ部品や工具の発注を行い全体が把握できない。

- ・入荷日が分からない
- ・入荷量が分からない
- ・受け取ったかどうか分からない

2班 A社

AS IS ...

品質保証課にて、検査スケジュールが把握出来ず
突然の立ち合い検査、出張依頼により検査工程に
トラブルが多い

2班 A社

TO BE

- 営業が把握している予定を共有し、事前に検査予定を整理しておく。
- 作業量を予測し、人員のスケジュールを管理する。

解決策

営業が使用している社内システムの権限(閲覧)をもらい、営業情報を把握(共有)する。

A社にてIVIのセミナー報告を行った際に、検査の問題点が社内に周知する結果となり、社として下記が改善され問題が解決された。

- ◆ 営業と検査課の席は、同一のフロア内の隣接する島に配置替えし、連絡が密に取れるように改善した。
- ◆ システムの閲覧権限(営業)を検査課にも付与され、営業の管理内容を共有出来る様に改善した。
- ◆ 営業の定期ミーティングに参加。

ご清聴ありがとうございました。



KAN
KOBE AERO NETWORK
神戸航空機クラスター

日刊工業新聞 (28.9.8) 第3種郵便物認可

兵庫で「つながる工場」

航空機クラスター結ぶ 工業会も研究会立ち上げ

【神戸】兵庫県内でIoTモノのインターネット)研究の動きが活発化してきた。神戸航空機クラスター研究会(KAN)は各社工場をIoTでつなげ、共通の生産システム構築を目指す活動を2016年度からスタート。外部団体が開催したIoT実践セミナーも受講した。兵庫工業会は8月のIoTセミナー実施に続き、11月には「情報セキュリティ・IoT・ロボット研究会」を立ち上げる計画だ。



KANは兵庫県を沃土の工場をIoTでつなぐ動機点として航空機部なげようという試みは、目指すインダストリアル品の一括受注・生産がその一環。IoT導入ル・パリエューションできる体制づくりを進め、神戸・エシマタイプ(1メンバー同)市産業振興財団が、日VIと協力し実施した。

たセミナーに、KANからはメンバー企業21社のうち16社が参加した。KANは11月にもIVIが実施するフォロアップセミナーも受講する計画。まず各社の生産現場で、地道なIoT活用活動を通じたカイゼン活動を通じたIoT活用のあり方を検討していく。兵庫工業会が主催する研究会は、製造業の会費主体で発足。情報リタイア対策とIoT活用をテーマへの理解を深める研究会は、約1年かけ計6回強会も見学会をIVI理事長が講師となる。靖之法政大学教授「IoTでつながる」IOT活用活動を通じたカイゼン活動を通じたIoT活用のあり方を調している。

KANはセミナーなどにも積極的に参加しIoTの活用を探る

日刊工業新聞に取り上げられました。